

死刑台のメロディ (1971)

SACCO E VANZETTI
SACCO AND VONZETTI

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記 犯罪

製作国 イタリア/フランス

色彩 Color

時間 125分

初公開日 1972/05/05

公開情報 ヘラルド

映倫 G

【キャッチコピー】

狂気のアメリカの歴史の中に消されたこの二人！ 罪なきサッコとバンゼッティ衝撃の悲劇に いま巨大な愛の花をささげる感動の秀作

【解説】

1920年代に起きた<アメリカ史の汚点>サッコ=ヴァンゼッティ事件を映画化。イタリア移民の労働問題が叫ばれていたボストン。靴屋のニコラ・サッコ（クッチョーラ）と魚行商人のバルトロメオ・ヴァンゼッティ（ヴォロンテ）は密告により逮捕された。だが逮捕の理由は拳銃を携帯していたからではなく、製靴会社の現金強盗殺人犯としてであった。二人はまったく身に覚えがないにも関わらず、次々と提示される証言や証拠は彼らが犯人である事を指し示していた。やがて裁判が開かれ二人には有罪の判決が下される……。人種偏見と思想差別が渦巻く当時の世相の中、スケープゴートとして闇に葬られる二人の男の姿を力強く描き出した傑作で、人間の尊厳を訴えかけるヴォロンテ、クッチョーラ（カンヌ主演男優賞受賞）共に熱演。E・モリコーネの哀切に満ちたメロディと、ジョーン・バエズの唄う主題歌も素晴らしい。

【クレジット】

監督	ジュリアーノ・モンタルド	Giuliano Montaldo	
製作	アリゴ・コロンボ	Arrigo Colombo	
	ジョルジオ・パピ	Giorgio Papi	
原案	ファブリッツィオ・オノフリ	Fabrizio Onofri	
	ジュリアーノ・モンタルド	Giuliano Montaldo	
	ミーノ・ローリ	Mino Roli	
脚本	ジュリアーノ・モンタルド	Giuliano Montaldo	
	ファブリッツィオ・オノフリ	Fabrizio Onofri	
	オッタヴィオ・ジェンマ	Ottavio Jemma	
撮影	シルヴァーノ・イッポリティ	Silvano Ippoliti	
編集	ニーノ・バラーリ	Nino Baragli	
音楽	エンニオ・モリコーネ	Ennio Morricone	
主題歌	ジョーン・バエズ	Joan Baez	
出演	ジャン・マリア・ヴォロンテ	Gian Maria Volonte	バルトロメオ・ヴァンゼッティ
	リカルド・クッチョーラ	Riccardo Cucciolla	ニコラ・サッコ
	ミロ・オーシャ	Milo O'Shea	フレッド・ムーア
	シリル・キューザック	Cyril Cusack	フレデリック・カッツマン

ロザンナ・フラテッロ
ジェフリー・キーン
ウィリアム・プリンス
クロード・マン

Rosanna Fratello ローザ・サッコ
Geoffrey Keen
William Prince
Claude Mann